



クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library 九州国連寄託図書館

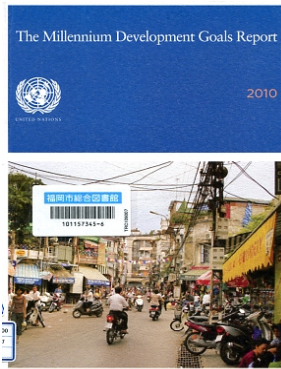
★★注目の1冊★★

国連のミレニアム開発目標(MDGs)といえば・・・

The Millennium Development Goals Report 国連ミレニアム開発目標報告

＜最新版＞

The Millennium Development Goals Report 2010
UN, 2010 76p.
Sales No. E.10.I.7
ISBN 9789211012187
国連書架 A2



＜内容＞

・2000年の国連特別総会は「ミレニアム宣言」を採択し、個々の人間がより良く生きるために、2015年までに8つのミレニアム開発目標(MDGs)を達成することを宣言しました。
・貧困撲滅、初等教育の完全普及、男女格差の解消、幼児死亡率の引き下げ、妊産婦の健康改善、HIV/エイズやマラリアの蔓延防止、持続可能な環境の確保、開発のためのグローバル・パートナーシップの構築です。
・この報告書は、2005年より毎年出版され、目標の地域別達成の進捗状況を、グラフや表で分かりやすくまとめたものです。

＜所蔵＞ 2005年版より所蔵

＜日本語版＞

『国連ミレニアム開発目標報告2010』
国際連合広報センター、2010

■国連と原子力エネルギー

2011年は、チェルノブイリ原子力発電所の事故(1986年4月)から25年目を迎えます。また、世界初の原子力発電所が1951年に米国にできて60年になります。

世界には原子炉が439基、日本では53基が稼働しています。世界の電力の16%が原子力発電で生産され、エネルギー生産の40%以上を原子力でしめる国が9カ国あります。

二酸化炭素の排出による環境悪化、人口増加、経済成長に伴うエネルギーの消費増大、化石燃料の運搬事故、枯渇問題など、今日のエネルギー政策には多くの課題があります。1979年のスリーマイル島事故、1986年のチェルノブイリ事故以降長く原子力の利用が減少していましたが、今また見直されています。

原料となるウラン、プルトニウムなど核物質は、原子力発電のような平和目的の利用から、軍事兵器にも使用されるため、核物質と技術を厳重に管理し、拡散を防止することが必要です。

国連は、原子力を安全に平和目的で利用するため、1957年に国際原子力機関(International Atomic Energy Agency: IAEA)を設立しました。IAEAは、安全基準やガイドラインを作り、軍事転用が起きないように監視しています。2005年はノーベル平和賞を受賞。

また、「放射能の影響に関する国連科学委員会」(United Nations Scientific Committee on the Effects of Atomic Radiation: UNSCEAR)は、各国政府が放射能の危険を評価する際に利用する科学的基礎となる報告書を作成しています。

＜参考資料＞ ・Sources and Efforts of Ionizing Radiation : UNSCEAR 2008 Report UN, 2010
・国際連合の基礎知識 国際連合広報局/著 2009

＜インターネット＞

国連(UN) <http://www.un.org/en/globalissues/atomicenergy/index.shtml>

国際原子力機関(IAEA) <http://www.iaea.org/>

放射能の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR) <http://www.unscear.org/>

3月22日は、世界水の日 World Water Day

2011年のテーマは“Water for Cities”(都市に水を)です。

世界の人口69億人の約半数が都市に住んでいます。*

急激な人口増加、スラム化、工業化、気候変動・紛争・自然災害の影響など、都市が抱える問題と安全な水供給システムに焦点を当てています。



*世界人口白書2010(国連人口基金)

世界水の日のロゴです。

九州国連寄託図書館 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階

TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>